

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスのびのび広場エミタス野田教室		
○保護者評価実施期間	7年 1月 20日		7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	7年 1月 20日		7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スペースが2階と3階のフロアに分かれて療育出来る。	・障害特性や年齢によって分けられ、少人数で過ごせて落ち着いた療育ができる。 ・3階で身体を動かせるスペースがありクールダウンの場としても使っている。 ・活動内容により移動可能なので安全である。	・学習と遊びのスペースをパーティション等で仕切り個別のスペースも確保する。 ・いろいろな分け方をして子供たちの交流を図るようにする。
2	独自の畑を持っている	・季節を感じながら自然に触れることができる。 五感を養いストレス軽減ができています。 ・収穫物を調理実習につなげるにより食育等にも結び付けている。	・年間計画を立てて季節ごとの先の楽しみの見立てを計る。 ・土曜、祝日が多いため平日のファーム利用を増やしていく。 ・収穫体験などエミタスのイベントとして家族、兄弟にも案内をして参加を募る計画も考えていく。
3	外部講師によるダンス教室、科学のおもちゃ教室のプログラムがある。	・身体の動き、一つの物を作り上げる楽しさなど良い体験になっている。 ・職員以外の大人と接することでマナーやルールを学ぶ良い機会になっている。	・活動中の職員の配置を事前に確認する。 ・曜日を固定せず色々な子に体験してもらう。 ・活動しにくい子のプログラムを工夫し、職員も一緒に考案してグループを分ける。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・駐車場が少ない。	・駅が近いなど立地条件により空き駐車場が少ない為。	送迎時の際は、見守り人員を必ず配置して安全確保を徹底する。 駐車場を確保するために近隣とコミュニケーションを図り、空いているスペースを借りられないか働きかけてみる。
2	・個別のスペースが少ない	・オープン時に予算と時間の制限があり思うような間仕切りが作れなかった。	・今ある相談室、事務室をいかしていく。 ・一人用テント等を購入して「自分のスペース」を確保していく。
3	・オープンして半年のため他の事業所との関係が構築されていない。	・交流のチャンスがまだ探せず、情報共有が不足している。	・送迎時等に他の事業所と意見交換を積極的に行う。 ・相談員さんにパイプ役となってもらい、ケース会議など情報共有の機会を増やしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスのびのびひろ場 エミタス野田教室
------	--------------------------------------

公表日 7年 3月 12日

利用児童数 11人

回収数 8

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1		1	他にどのような子がいるのかわからない。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	2		2	他にどのような子がいるのかわからない。	出勤表を使い人員配置を守っている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	3		1	オープン前の見学だったのでわからない。	整理整頓を行い床にものを置かないようにしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	1		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	1		2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	1		1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	1		2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	1		2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1		1	イベントが多く楽しませていただいています。ダンス、調理、おもちゃ教室などいろいろなプログラムが用意されていて良い。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	1	2		他事業所主催のイベントに参加していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7			1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	1	1	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	1	3		個人の相談などは受けている。ペアトレ研修などを受けて全体での研修会を行えるようにしていく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	2	2	兄弟時へのフォローがあるなら今後利用したい。	駐車場スペースが確保できないため難しい。今後課外活動などでご家族兄弟の交流機会を設けていく。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1	1	2		個別支援計画等に載せているが エミタス便り等で改めて周知していく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5			3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1		5	避難時はどこに行くのかわからない。	訓練の報告をお便りに出していく。 今後防災マニュアルなどを配布していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7		1		開き戸に指ハサミ防止をつけてほしい。	防止具設置を検討していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1		1		迅速にもれなく伝える。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8					
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス のびのび広場エミタス野田教室		公表日 7 年 3 月 12 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	2F,3Fの活動を分ける。	活動内容、学年、いろいろなバリエーションを考えて分ける。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	勤務表などを利用して、配置数を管理している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	環境整備を図り床に物などを置かない等配慮している。	バリアフリーなどは検討している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	清掃、消毒、整理整頓を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2	朝礼、夕礼時に支援の振り返りを行い、支援の方向性の共有を図っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	朝会、夕会の時に発言の機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		今後 第三者委員会の設置を準備していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	スキルアップのための研修等を会社で認めている。	もっと積極的にやっていく。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	6		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	夕会の際必ず支援で築いた点の申し送りなどを行い職員で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	3		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	8		今後活用していくために検討している。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8	利用等はしている。	図書館、児童館の利用を増やしていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	2		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		9		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4		今後開催場所なども含めて検討している。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9		今後そのようなイベントを企画したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		9		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	3		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		安全計画、その他マニュアルを作成し保護者、職員が共有出来るように準備したい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		9		安全計画、その他マニュアルを作成し保護者、職員が共有出来るように準備したい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		外部講師による研修会なども行っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	2			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスのびのび広場エミタス野田教室		
○保護者評価実施期間	7年 1月 20日		～ 7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47人	(回答者数) 24人
○従業者評価実施期間	7年 1月 20日		～ 7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スペースが2階と3階のフロアに分かれて療育出来る。	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性や年齢によって分けられ、少人数で過ごせて落ち着いた療育ができる。 ・3階で身体を動かせるスペースがありクールダウンの場としても使っている。 ・活動内容により移動可能なので安全である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と遊びのスペースをパーティション等で仕切り個別のスペースも確保する。 ・いろいろな分け方をして子供たちの交流を図るようにする。
2	独自の畑を持っている	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じながら自然に触れることができる。 ・五感を養いストレスの軽減ができています。 ・収穫物を調理実習につなげることで食育等にも結び付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を立てて季節ごとの先の楽しみの見立てを計る。 ・土曜、祝日が多いため平日のファーム利用を増やしていく。 ・収穫体験などエミタスのイベントとして家族、兄弟にも案内をして参加を募る計画も考えていく。
3	外部講師によるダンス教室、科学のおもちゃ教室のプログラムがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の動き、一つの物を作り上げる楽しさなど良い体験になっている。 ・職員以外の大人と接することでマナーやルールを学ぶ良い機会になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中の職員の配置を事前に確認する。 ・曜日を固定せず色々な子に体験してもらう。 ・活動しにくい子へのプログラムを工夫し、職員も一緒に考案してグループを分ける。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・駐車場が少ない。	・駅が近いなど立地条件により空き駐車場が少ない為。	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時の際は、見守り人員を必ず配置して安全確保を徹底する。 駐車場を確保するために近隣とコミュニケーションを図り、空いているスペースを借りられないか働きかけてみる。
2	・個別のスペースが少ない	・オープン時予算と時間の制限があり思うような間仕切りが作れなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある相談室、事務室をいかしていく。 ・一人用テント等を購入して「自分のスペース」を確保していく。
3	・オープンして半年のため他の事業所との関係が構築されていない。	・交流のチャンスがまだ探せず、情報共有が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時等に他の事業所と意見交換を積極的に行う。 ・相談員さんにパイプ役となってもらい、ケース会議など情報共有の機会を増やしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスのびのびのび広場エミタス野田教室
------	-----------------------------------

公表日 2007年3月12日

利用児童数 7年2月15日 47人

回収数 24

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2		3	実際に施設内を見ていない。 その時の状況に合わせて活動の場所を移動できてよい。	見学機会を増やす。 活動内容、学年など分け方を 考え使用する。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	4		2	どのような先生がいるのかわからない。	契約時に説明の項目に入れる。 お便りなどを使い広報する。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	5		4	清潔で整えられた空間になっている。 階により子供たちの活動が分かれているこどもたちにわかりやすく構造化されており環境に合わせて気持ちの切りかえができてよい。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	3		1	子供たちの気持ち特性に合わせて活動したり専門性のある支援を受けられている	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	3		2	まだ通い始めてばかりなのでわからない	SNSなどを使い発信していく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1		3	まだ通い始めてばかりなのでわからない	SNSなどを使い発信していく。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1		2	まだ通い始めてばかりなのでわからない。 適宜面談なども子供の状態を互いに確認作成修正されている	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1		1	具体的な支援内容が設定されている。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23			1	本人の意思も尊重しつつ支援が行われている。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2		2	多様な活動プログラムが設定されている 学習支援、食育の為の畑、調理実習、公園外出機会も多い	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	2	10	児童館に連れて行ってもらったときは楽しかったようです。 出かけてはいるが一緒に活動はしていない。	図書館、児童館の利用を増やしていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1	2		適切な説明があった。 集金の明細が分かりにくい。	わかりやすい形への変更を検討している。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	5	5	5		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22	2			連絡帳を通して送迎の際など連絡を取り合える スタッフにより情報等が伝わっていない	朝会、夕会などでスタッフ間で情報を有する。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2	1	2	面談を通して子供に対する共通理解ができていく	定期的な面談以外にも必要、要望等があれば面談を行うことを伝えていく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	4				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	9	8		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20			4	体調のことで相談しすぐに返答してもらえる	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	2	1		LINE等の返信がしっかりと助かる	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	1	3		お便りなどで活動の様子を伝える。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	4		4		マニュアル等を配布していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2		7	LINEやホームページで発信して欲しい。	LIN、ホームページ、お便りなどで伝えていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	4		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	5		2	白紙1 LINEではなく電話で伝えてほしい。	迅速に直接伝える。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	1		1	楽しく安心して通所できている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	2			活動内容で変わる。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1			LINE等の返信がしっかりと助かる。	今後いろいろな形で保護者の意見を聞いていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス のびのび広場エミタス野田教室		公表日		7年 3月 12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	2F,3Fの活動を分ける。	活動内容、学年、いろいろなバリエーションを考えて分ける。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	勤務表などを利用して、配置数を管理している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	環境整備を図り床に物などを置かない等配慮している。	バリアフリーなどは検討している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	清掃、消毒、整理整頓を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	朝礼、夕礼時に支援の振り替えを行い、支援の方向性の共有を図っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	朝会、夕会の時に発言の機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		今後 第三者委員会の設置を準備していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	スキルアップのための研修等社で認めている。	もっと積極的にやっていく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	6		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	夕会の際必ず支援で築いた点の 申し送りなどを行い職員で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	2		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	3	親御さんからの情報で確認している。	学校との情報共有をもう少し 深めていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		9		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				開所して1年たたないので このようなケースがまだない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4		可能な限り研修に参加したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	8		図書館、児童館の利用を増やしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	8		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	8			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9			個別ではなく、全体での研修機会を 増やしていきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	3		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	2		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		9		今後開催場所なども含めて検討している。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	2		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9		今後そのようなイベントを企画したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		9		安全計画、その他マニュアルを作成し保護者、職員が共有出来るように準備したい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	3		避難訓練等は行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0		事前に聞き取りを行っている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		安全計画、その他マニュアルを作成し保護者、職員が共有出来るように準備したい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			安全計画、その他マニュアルを作成し保護者、職員が共有出来るように準備したい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			その日の夕会でヒヤリハット事例の確認を行い対策を検討している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		外部講師による研修等も行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	2			